



“遊び込める環境を目指します”

鹿児島市からの通勤途中、わたしには楽しみがあります。それは、季節を感じることです。道端の紫陽花がそろそろ咲きそうです。例年より早い梅雨入りで、運動会も延期になりました。しかし、雨が降ることで花の開花が加速し、華やかさを増していくことでしょう。

その雨は、花や草木だけでなく、お米や野菜・果物が育つ大切な雨であり、人が生きていく為の飲み水や洗濯、トイレ、そして何より子どもたちが大好きな水遊びに使う水となります。雨が続くと鬱陶しい気分になることもありますが、大事な季節として捉え、毎日の生活を豊かにしていく工夫をしていきたいものですね。

園では、室内でも十分に体を動かして遊んだり、子どもたちが落ち着いて遊びに取り組むことができるような環境を目指します。



“子育て中のあなたへのメッセージ”



第2回【感 動】

保護者の皆さんも子どもたちも、たくさんの経験を積むために生まれてきました。子どもをもつ経験、親をもつ経験、そしてたましいとたましいがふれあう経験、喜びも悲しみも含めたすべての経験が、感動に結びつきます。

この感動を面倒だと思わず、感動を楽しむ日々を送ってください。感動がなければ成長はありません。成長しなければ、人として生まれてきた意味が問われることになると考えます。



わたしには3人の子どもがいます。しかし、1人目が生まれたときも2人目が生まれたときもわたしは病院にはいませんでした。さすがに3人目は申し訳なく思い、「立ち会い」をすることに決めました。

苦しそうな妻の背中や腰をさすること8時間余りが経過したときに、その瞬間は訪れました。待望の女の子が生まれたのです。言葉よりもまず熱いものがほほを伝いました。その後、妻に掛ける言葉が思いつかないわたしよりも先に、二人の息子たちが「ありがとう」の言葉を妻に掛けていました。

仕事柄、今まで数々の感動をいただきましたが、この瞬間以上の感動は今のところありません。2人の息子たちもよほど感動したのか、夏休みの作文に2人そろって、妹の誕生のことを書いていました。

園長からのお願い

- 1 8:45までの登園をお願いします。(子どもたちのリズムを作るために必要です。)
- 2 子どもさんのお話を聴いてあげてください。(寂しさを感じている子が多いです。)